

2022 年度事業報告書

(2022 年 4 月 1 日から 2023 年 3 月 31 日まで)

I. 事業の実施状況

1. 奨学援助事業

当財団は、1977 年 2 月に故榎山純三が私財を投じて設立しました。設立 45 年目を迎えた本年 3 月には第 43 回目の大学学部学生 41 名の卒業生を社会に送り出すことができました。大学学部学生採用者は累計 2,200 名、外国人大学院留学生採用者は累計 290 名となりました。

(1) 奨学生募集・選考

当年度も推薦依頼大学 40 大学と設立者出身地の小諸市教育委員会に、当財団の採用基準に従い、学内選考を行ったうえでの大学学部学生の推薦をお願いしました。留学生については、新型コロナウイルス感染拡大のため来日できる留学生の人数が著しく減少し回復途上である状況を鑑み、理事会決議（2022 年 3 月 9 日）により当年度も募集を休止しました。

① 大学学部学生

第 46 回大学学部学生として 38 名の推薦があり、書類選考の結果 38 名合格し 38 名が採用となりました。

② 外国人大学院留学生

募集休止のため 0 名（寄宿舍奨学生については募集を継続）

③ 寄宿舍奨学生（榎山奨学会館）

2012 年度より始めた無償貸与の寄宿舍奨学生について、各大学から推薦された 3 名（外国人大学院留学生）が入居・2 名が継続しました。（寄宿舍貸与大学は東京大学、上智大学）

(2) 奨学金給付

① 新規奨学生への給付

新規採用された第 46 回大学学部学生 38 名に対して、月額 4 万円を給付しました。

② 継続奨学生への給付（大学学部学生 2.3.4 年生）

継続給与対象奨学生から提出された書類に基づき奨学生選考委員会が審査した結果、第 43 回大学学部学生 40 名、第 44 回大学学部学生 38 名及び、第 45 回大学学部学生 41 名の合計 119 名に対し継続給付を決定し、月額 4 万円を給付しました。

③ 学習奨励金給付

奨学生選考委員会による継続審査結果に基づき、継続奨学生の成績優秀者 11 名に学習奨励金 5 万円（うち 1 名は 3 年連続特別奨励金 3 万円を加算）を給付しました。この結果、新規奨学生、継続奨学生への奨学金総支給額と学習奨励金（奨学金）給付額の合計は 75,460 千円となりました。

(3) 交流活動

① 大学学部学生 2 年生研修会合

新型コロナウイルス感染拡大につき中止しました。

② 新規奨学生歓迎オリエンテーション

2022 年 6 月に予定しておりましたが新型コロナウイルス感染拡大につき中止しました。

③ 第 30 回 外国人大学院留学生会合

8 月 22 日（月）～23 日（火）に予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染拡大につき開催直前に中止しました。

④ 第 45 回 全国会合

2022 年 10 月 30 日（日）に予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染拡大につき形を変えて、同日「成績優秀賞授与式」として、成績優秀者 11 名と選考委員が集まり榎山奨学会館で開催しました。

⑤ 卒業を祝う会

2023 年 3 月 5 日（日）に榎山奨学会館で開催しました。

理事長から最後の奨学金とお祝いのメッセージカードと卒業記念品を、出席した 35 名の卒業生に手渡しました。

⑥ OB・OG 会

卒業後も年代や国の垣根を越えて末永い交流が続くようにと願い、家族ぐるみの参加を募っております。

第 36 回関西 OB・OG 会 2022 年 10 月に予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染拡大につき中止しました。

第 36 回関東 OB・OG 会 2023 年 1 月に予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染拡大につき中止しました。

(4) 会報

当財団の会報誌「かしの芽」を年 2 回（第 92 号、第 93 号）発行しました。

2. 榎山純三賞事業

(1) 表彰事業

財団設立 30 周年を記念して設立しました社会科学分野の現代アジア研究の著書の表彰で、6 名の選考委員による榎山純三賞選考委員会で決定しました。

当年度は、ソーシャルディスタンスを考慮し表彰式を行いました。

第 17 回 榎山純三賞表彰式

日 時 : 2022 年 11 月 8 日(火)

開催場所: ホテルニューオータニ

第 17 回 学術書賞 『病の会話 ネパールで糖尿病を共に生きる』中村 友香著
京都大学学術出版会 刊

一般書賞 『新疆ウイグル自治区 中国共産党支配の 70 年』 熊倉 潤著
中央公論新社 刊

(2) 榎山セミナー助成事業

現代アジア研究者による学問的に水準の高い研究会・シンポジウムに対して「榎山セミナー」として資金助成をする事業を 2016 年度から始めました。

第 6 回は 2022 年 11 月 27 日(日)に大阪府吹田市の関西大学で開催しました。

II. 財産の状況

(1) 基本財産について

基本財産は株式会社オンワードホールディングス株式 8,710,970 株を主とし、他に定期預金並びに世田谷区代沢所在の土地 1,652.89 m²があります。

当年度は基本財産である株式会社オンワードホールディングス株式の配当が 1 株につき 12 円でした。

(2) 特定資産について

特定資産は、公益目的保有財産、管理用財産、資産取得資金、特定費用準備資金及び引当資産として積み立てています。正味財産増減計算書内訳表において、公益目的保有財産、資産取得資金、特定費用準備資金として積み立てている金融資産の運用益は公益目的事業会計に、管理用財産及び引当資産として積み立てている金融資産の運用益は法人会計に掲載しています。

現在の積立金額は財産目録記載の通りです。

当期支出は事業費、管理費とも予算内の支出となっています。

以上の結果、正味財産期末残高は 66 億 91 百万円となっています。

Ⅲ 管理運営の状況

役員会等に関する事項（理事会、評議員会）

① 2022年度第1回理事会（決議の省略）

理事会の決議があったものとみなされた日：2022年5月20日（金）

理事の同意書：理事7名、異議のない旨の書面：監事2名

審議事項の内容

- ・2021年度（2021年4月1日～2022年3月31日）事業報告及び同年度計算書類の承認の件
- ・定時評議員会の招集の件
- ・新任評議員1名推薦の件

② 定時評議員会

2022年6月8日（水）17時～

ホテルニューオータニ

出席者：評議員7名、監事2名

審議事項の内容

- ・2021年度（2021年4月1日～2022年3月31日）事業報告及び同年度計算書類の承認の件
- ・新任評議員1名承認の件

③ 2022年度第2回理事会

2022年6月8日（水）17時30分～

ホテルニューオータニ

出席者：理事7名、監事2名

審議事項の内容

- ・2021年度内閣府定期提出書類の承認の件

④ 2022年度臨時理事会（決議の省略）

理事会の決議があったものとみなされた日：2022年11月15日（火）

理事の同意書：理事7名、異議のない旨の書面：監事2名

審議事項の内容

- ・奨学金給付

規程改定の承認の件

⑤ 2022年度第3回理事会

開催日：2023年3月8日（水）

出席者：理事7名、監事2名

審議事項の内容

- ・2023 年度事業計画及び同年度収支予算の承認の件
- ・檜山純三賞選考委員 1 名退任 1 名選任の件
- ・奨学生選考委員 1 名退任 1 名選任の件
- ・会館修繕積立資金の取り崩し不実施の件
- ・株主権の行使の件
基本財産たる株式会社オンワードホールディングスの株主として
第 76 回定時株主総会における権利行使を理事長に一任

2022 年度の事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。